

第36回日本新生児慢性肺疾患研究会 プログラム

2024年11月23日（土）

開会の辞 11:00-11:10

一般演題 第1部（発表7分、討論3分） 11:10～11:50

座長：新井 浩和（秋田赤十字病院）

1. 人工呼吸の呼気時間を長く設定することで呼吸状態が安定した重症児2例
○高見直（名古屋大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター新生児部門）
2. 呼吸循環管理に難渋する先天性横隔膜ヘルニア(CDH)術後症例に対しneurally-adjusted ventilatory assist (NAVA)が有効であった1例
○大曾根義輝（千葉大学医学部附属病院周産母子センターNICU）
3. 羊水混濁を認めた新生児一過性多呼吸の臨床像の検討
○本田優奈（東京女子医科大学医学部、東京女子医科大学附属足立医療センター新生児科）
4. 当院で一酸化窒素吸入療法を行なった極低出生体重児の臨床的背景と治療効果
○町田修平（沖縄県立中部病院新生児科）

ランチョンセミナー 11:50～12:50

座長：大曾根 義輝（千葉大学）

「JEBNeo早産児の慢性肺疾患の予防・治療のための診療ガイドライン」

諫山 哲哉 国立成育医療センター新生児科

一般演題 第2部（発表7分、討論3分） 13:10～13:50

座長：山本 裕（岐阜県総合医療センター）

5. 新生児慢性肺疾患の診断時期と病型分類による退院時呼吸器予後の予測
○閑野将行（埼玉県立小児医療センター総合周産期母子医療センター 新生児科）
6. 当院で胸部X線写真上bubbly/cystic像を呈した超早産児についての検討
○新井浩和（秋田赤十字病院新生児科）
7. 新生児慢性肺疾患の新分類と発達予後との関連
○蘆田祐基（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院小児科）
8. 2003-2022年における本邦のCLDの発症頻度の変遷とその背景：NRNJによる後方視的大規模コホート研究
○中西秀彦（北里大学医学部附属新世紀医療開発センター新生児集中治療学）

一般演題 第3部（発表7分、討論3分） 13:50～14:30

座長：源川 隆一（沖縄県立中部病院）

9. 晩期循環不全と慢性肺疾患が早産児の短期予後に及ぼす影響 ～日本の後方視的コホート研究～

○石田宗司（北里大学小児科）

10. 新生児慢性肺疾患と末梢血中ヘルパーT細胞サブセット推移との関連

○永藤元道（筑波大学附属病院小児科）

11. 肺超音波検査を活用した呼吸窮迫症候群に対するサーファクタント投与の予測 多施設共同研究

○星野雄介（茨城県立こども病院新生児科）

12. 早産児の咽頭軟化症の検討

○住川拓哉（東京女子医科大学附属足立医療センター新生児科）

特別講演 14:45～15:45

座長：雪竹 義也（茨城県立こども病院）

「慢性肺疾患の画像診断 ―CTの有用性と撮影のポイント―

河野 達夫 東京都立小児医療センター放射線科

教育講演 1 15:45～16:15

座長 山田 洋輔（東京女子医科大学附属足立医療センター）

「新生児気道外科 救命の先は・・・」

東間 未来 茨城県立こども病院 小児外科

教育講演 2 16:15～16:45

座長 宮園 弥生（筑波大学）

「新生児肺エコー のABC ―コツおしえますー」

星野 雄介 茨城県立こども病院 新生児科

閉会の辞・次期会長挨拶 16:45～16:55

懇親会 17:30～19:30

会場：ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸（参加費無料）